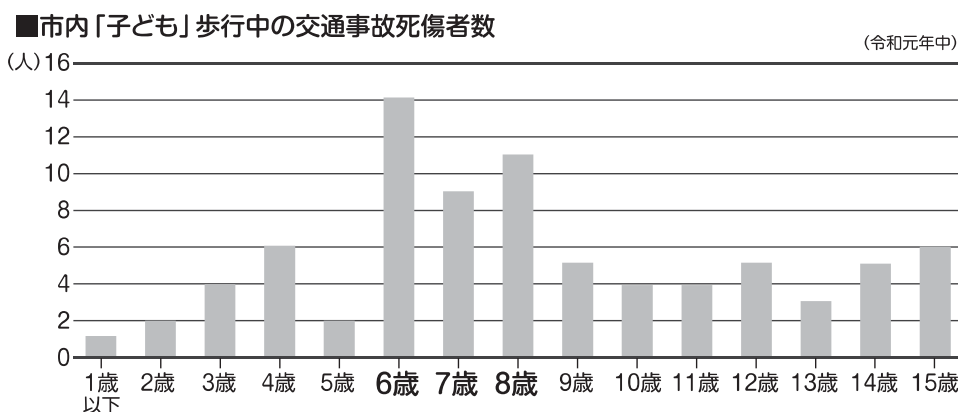


●●● 新一年生の保護者の皆様へ ●●●

交通安全のお願い

**特に注意! 6歳児から8歳児の
歩行中の交通事故が多く発生しています!**



まもなくのご入学、おめでとうございます。
お子様の成長ぶりに、さぞお喜びのことと
心からお祝い申し上げます。

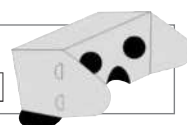
さて、入学を境に子どもたちの行動範囲も
広がって、ひとりで行動することも多くなり、
交通事故が心配されます。

そこで、保護者の皆様へ、お子様の交通安全
について、いくつかお願いがありますので、
よろしくお願いします。

令和3年 名古屋市交通指導員

大人よりも格段に狭いといわれる子どもの視野を疑似体験してみませんか。
名古屋市公式ウェブサイトから、「チャイルドビジョン」と呼ばれる組立式の
模型メガネをダウンロードできます。ぜひ、ご活用ください。

チャイルドビジョン 名古屋市



名古屋市・名古屋市教育委員会

1 通学路などいつも通る道は、一緒に歩いて確認を!

子どもは大人に比べて視野が狭く、視点も低いため、大人が見えるものでも子どもからは見えない場合があります。通学路などお子さんがいつも利用する道路と一緒に歩き、**子どもの目線で確認**をしてください。

そして、何に気をつけ、どう行動すればよいかを実際にやって見せ、また、お子さんにもやらせてみてください。

ぜひ、通学路をお子さんと一緒に歩いてください。



3 自転車も車です! 必ず交通ルールやマナーを守って!

自転車は、「軽車両」で車の仲間です。

「交差点では必ず止まる」「信号は必ず守る」など、**必ず交通ルールやマナーを守って**、自転車に乗るよう、教えてあげてください。

お子さんが自転車に乗るときは、**必ずヘルメットをかぶ**らせましょう。

また、名古屋市では「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を制定しています。保護者の方は、お子さんが自転車を利用する場合は、自転車損害賠償保険等へ必ず加入しましょう。



2 横断の方法が悪いことによる事故が多い!

子どもたちは、一つのことに注意が向くと、周りのことが目に入らなくなります。

道路へ決して飛び出さない、交差点では、必ず止まって右、左、もう一度右を確認するように教え、実行させてください。



令和元年中
県内小学生歩行中の交通事故負傷者数(計195人)
〈主な原因〉

横断の方法が悪かった	17 人
道路で遊んでいた	7 人
信号無視	2 人
違反なし	97 人

4 大人が交通安全の良いお手本に!

信号が赤なのに、お子さんの手を引いて足早に横断する方や、シートベルトをしないまま自動車を運転している方を見かけることがあります。

子どもたちはことの善悪の区別なく、無条件に大人の真似をします。

お子さんのかけがえのない命を守るためにも、**どうか皆さんが自ら交通安全のよいお手本を示して**あげてください。

